

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		space kid's.con プ・ア・ブ			公表日	令和 6年 12月
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	14	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	13	2		基本配置や加配に関する規定通りの人員配置となっています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	15			子供の活動に合わせ、環境を整え見通しを持って活動できるような工夫をしています。施設内の構造上、段差が生じてしまう場所では必ず指導員が付き添い安全を管理しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	15			療育後には、その時間ごとに玩具、療育道具のアルコール消毒を徹底しています。冬場だけでなく、毎日換気、消毒、掃除を行っています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	15			お子様のその日の状況に合わせて使用しています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	15			療育開始前は、特記事項を中心に申し送りを行っています。実施した指導などを記録として残り指導員間で目標、課題の抽出を行い情報共有をしています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	3		ホームページに公表しています。保護者の意見は職員間で共有、改善につなげています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15			お子さんの様子や支援については、毎日のミーティング等の中で共有し方針を検討しています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	3	4	第三者における外部評価は行っていません。実施を検討中です。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12	1	2	各療法士、児童発達管理責任者を中心に勉強会、研修の報告会を実施しています。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	15			支援プログラムはホームページに載せています。周知していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	15			見学時のヒアリングや保護者様記入のチェックシート、療育中の聞き取り、それぞれを反映させ個別支援計画書を作成しています。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	14	1		事業所独自のアセスメントシートを使用し児童の行動状況を指導員内で共有しています。また、他機関で行われた検査結果等を保護者様から共有頂き支援の参考にさせて頂いています。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	14	1		いつでも見れるところに保存されています。支援を行う時には支援計画を確認し沿った内容になるよう確認しています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	13	2		事業所独自のアセスメントシート(言語チェックリスト・感覚チェックリスト)などを使用し児童の状況を指導員内で共有しています。また、他機関で行われた検査結果等を保護者様から共有頂き支援の参考にさせて頂いています。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	14	1		お子様や保護者様のニーズに沿って適切な支援目標と支援内容を具体的に記載しています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	14	1		お子様や保護者様のニーズに沿って適切な支援目標と支援内容を具体的に記載しています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	14	1		子供の興味や発達の状態に合わせて、楽しみながら活動ができるよう工夫している。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	12	3		保護者様からの希望やモニタリングを元に、個別それぞれからのアプローチを行い、個別支援計画書に反映させています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	13	2		担当指導員が中心となって、目標、課題に沿ったプログラムを立案します。目標設定にズレがないかを指導前に全体で確認しています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	14	1		療育終了後に子どもの様子を振り返る時間を設けており、内容を記録しながら、話し合いを行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	14	1		療育終了後に子供の様子を振り返りながら記録し、支援内容の検証や改善につなげています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13	2		半年に一度面談を行い、個別支援計画を更新しております。また、必要に応じて随時面談を行い個別支援計画書の更新や確認もしています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	5		児童発達支援管理責任者の他、児童の指導により多く関わっている指導員が参加しています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12	2	1	児童の様子を見て必要に応じて、園等関係機関と連携しそれぞれの情報を共有し支援に反映させています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12	3		保護者様のご意向や必要性に応じて実施させて頂いています。訪問の他、電話での情報共有を行っています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	4		進学、転園など必要の際は連携をしています。保護者の依頼で就学時就学シートでの情報共有を行っています。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8	5	2	保護者様のご意向や必要性に応じて、電話などで情報共有させていただいております。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	8	5	主に保育園、幼稚園に併行通園している児童がほとんどのため、交流する機会は設けていません。公園での活動の際に一緒に遊ぶことはあります。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	15			連絡帳や送迎の際に家庭での様子等、情報交換をさせて頂いております。また、サービス提供後、その日の様子や課題を保護者様にお伝えし、疑問点や質問にお答えしています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	7		療育中や送迎時に、支援の内容について説明やアドバイスをしています。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13	2		契約時だけでなく、お問い合わせがあれば適宜対応しています。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13	2		保護者の希望や発達検査の結果、療育の様子など総合的に捉えた上で、支援計画を作成しています。	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	14	1		保護者の方に必ず説明をし、同意を得た上で実施しています。	
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	15			半年の一度の面談に限らず、送迎時のお話や連絡帳、療育中でもお話ができる体制を整えています。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	8	2	今のところ保護者同士の連携、保護者会はありませんが今後検討していきたいと思えます。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12	3		ご質問やご相談には迅速に対応するよう心掛けています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	14	1		連絡事項などはメールにてお知らせしております。活動概要につきましては施設ブログにてお知らせしております。インスタグラムも始めました。周知していきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14	1		個人情報の取得、利用については目的を特定しその範囲内で利用しています。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13	2		視覚的支援の活用や環境設定など、また分かりやすい説明などを心がけて進めています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10	5		事業所開放日を設けています。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	14	1		ご契約時に保護者様には緊急時対応マニュアルをお渡ししております。各マニュアルは閲覧できるようになっております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13	2		マニュアル等スタッフで共有しています。また訓練を定期的におこなっています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10	3	2	保護者様にはお子さんのサポートブックへの記入をお願いし、服薬や生育歴についてお伺いしています。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	8	2	食事、おやつ提供がないため、該当児童はおりません。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12	3		年に2回作成し、研修を行っております。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	5		SNS などを使って情報を公開しています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	4		事故報告書を共有するとともに、事故が起こる前に対処できるようにしています。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12	3		毎年アンケートを実施しています。日々の療育の中でも言動に注意を注いでいます。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	6		虐待防止のガイドラインに従うこととしております。	